

## 移住したふたりが抱いた 那須町への『思い』



那須町北部に移住  
**菅野さんご家族**  
2人別々の那須町の牧場に勤務。夫の菅野俊昭さんは埼玉県出身。仕事は実家から東京都へ通っていた。2011年10月に那須町へ移住。妻の香代子さんは愛知県出身。長野県に3年住んだ後、那須町へ2006年に移住している。

### この町に移住して変わった生活スタイル。

夫の菅野俊昭さんが那須町へ移住し

たのは、今勤めている牧場の社長が

高校の同級生で、一緒に働いてほし

いと声を掛けられたことが那須町へ

の移住のきっかけであった。

一方妻の香代子さんは、那須町の雰

囲気が気に入つて移住することを決

めた。長野県在住時にNPO法人が

行うモンゴルツアーリーにヶ月間参加

して彼女自身の価値観が変わったそ

うだ。日本に帰国し、これからの人

生どうしていこう、何をしよう、と悩んでいた香代子さんは当時よく色々な場所に旅行へ行つていた。その時友人に「那須町はいい所だよ。」と薦められ、初めて那須町に足を運ぶことになる。

見上げた那須町の空の広さと青さに心惹かれた。

「那須町の牧場に行った時、空気とか動物の匂いでモンゴルを思い出しました。私は、その場でここで働かせて下さい!とお願いしました(笑)。晴れて香代子さんはその牧場に勤めることになった。

全く異なる理由で那須町に移住したお二人。現在は子どもにも恵まれ、那須町での生活を満喫している。知り合いに紹介してもらったこの家に住んで3年が経つ。

「那須町に移住した最初の年は本当に驚きました。雪が腰位まで積もったこともあります。それでもなんとか生

活できていたので、雪は慣れちゃえばなんてことないですね(笑)。」

都会があまり好きではないという香代子さん。雪が降るなど不便なこともあるが、家の外には自然がいっぱい、少し外に出ると森林浴ができる那須町は、都会では体験できない理想的な環境であった。

移住してからは心身ともにゆとりが生まれ、今日は何をして過ごそうかと考えるようになった。

那須町に移住し、仕事のスタイルが大きく変わったという俊昭さん。以前は毎日電車に揺られ通勤していたが、現在は車での通勤に変わり、身

体的な負担が減ったという。

「移住前は仕事ばかりでゆっくりしたいという欲が無かつたから、那須町に来てから逆にやることがなくて困った(笑)。仕事が休みの日には、那須山に登つてみたり、カフェに行ったりして過ごしているそうだ。」

そんな一人のような移住生活に憧れるが、移住というとやはり気になるのは金銭面である。今までの生活費がどこまで変わってくるのか不安もあるだろう。しかし俊昭さんは、地方は都会と比べて給与水準が低い傾向にあるが、生活にかかる費用も少ないでの負担額はそれほど変わらないという。金銭面での移住のハードルは意外と低いようだ。





道の駅の直売所では、緑豊かな大地で育った採れたて新鮮野菜を中心とした農産物に加え、季節の花や苗木を販売している。仕事が休みの日は必ず道の駅の野菜を買いに来るお二人。スーパーよりも比較的値段も安く、鮮度はバツグンとのこと。



俊昭さんは、「人と人との距離が近いんですよ。祝い事とかがあると皆でお祝いしたりするので。そういう所は田舎らしいのかな。」と語る。職場で祝い事があると取引先の方やプライベートで付き合いのある方も呼んで一緒に祝いするという。移住してきて知り合いが少なかったが、そこから人との繋がりが広がつていった。「実は、今住んでいる家はそこで知り合った方に紹介してもらつたんですよ。」何かあった時に頼れるというのは大変ありがたいのだという。

まだ香代子さんが那須町に移住する前の出来事で、真冬に那須町へ旅行で訪れた時、暖を求めて立ち寄ったお店の人々が仕事中にもかかわらず宿



何があつた時に頼りになる、地元の人々の温かい人柄や優しさが目に浮かぶ。

泊先のペンションまで車を出して送ってくれたことがあるという。那須町の人の優しさに感動したそうだ。  
「昔から住んでいる地元の方々の人柄が本当に優しくて。なんだか皆さん雰囲気があつたかいなって思いますね。当たり前に優しくしてくれるんです。」

## 地元の人たちのあたかさ。



家のすぐ近くにはお気に入りの散歩道。もう少し大きくなったら一緒に歩こうね。

那須町には多くの移住者が住んでおり、住民と移住者が互いに知恵を出し合いながら暮らしている。そこが那須町らしいと俊昭さんは言う。  
「今だとぬか漬けを教えてもらったり、子ども向けの離乳食の教室に参加したり。一人一人が持つ知識・経験・技術をシェアしながら暮らしている印象があります。」

香代子さんは「那須子育ちの会」に参加し、自然の中で子どもたちを遊ばせたい、できるだけ自然に近い物や生産者の顔が見える物を食べさせたいという自然派のママ友との交流を深めている。今も友人と一緒に田ん

ぼを借りて米作りをしているという。「考え方共感できるお母さん達がたくさんいるから、毎回楽しく参加させてもらっています。」  
牧場で働きながら子育てを両立している菅野さん夫婦。休日は、子どもが生まれてからはあまり遠出せず、買い物に行くことが多くなつた。香代子さんは休みの日は必ず道の駅で野菜をたくさん買つてくるといふ。  
「朝採れたて新鮮ですし、母を連れて来た時はこの量でこの値段!?と驚かれました(笑)。」

# “那須町らしい”子育て。